



2026全国選抜ジュニアテニス選手権大会 光杯 北海道大会

(2026 DUNLOP CUP 全国選抜ジュニアテニス選手権大会
兼 ワールドジュニアテニス世界大会代表選考会 北海道予選会)

期 日： 2026年 2月21日(土)～23日(月)

会 場： 宮の沢屋内競技場
主 催： 北海道テニス協会
後 援： 北海道教育委員会

《 大 会 役 員 》

大会会長 八木 知徳

大会副会長 杉村 潤 近藤 真章 恩村健太郎

大会委員長 蒲生 清

大会委員 伊佐治 正章 佐藤 雅規 山田 直樹

鈴木 寛典 土佐 ケイ 太田 幸江

ディレクター 太田 幸江

レフェリー 藤田 猛敏

審判員 公益財団法人 日本テニス協会公認審判員

2026年 全国選抜ジュニアテニス選手権大会 光(ひかる)杯 北海道大会
(2026 DUNLOP CUP全国選抜ジュニアテニス選手権大会
兼 ワールドジュニアテニス世界大会代表選考会 北海道予選会)

2025年12月9日修正

- 主催 北海道テニス協会
- 主管 北海道テニス協会
- 後援 北海道教育委員会
- 期日 2026年2月21日(土)・22日(日)・23日(月)
- 会場 宮の沢屋内競技場(人工芝3面)
札幌市西区宮の沢490 TEL 011-664-6363
(大会本部の電話番号は仮ドローに掲載いたします)
- 種目及び参加数 14才以下 男女シングルス 16
12才以下 男女シングルス 16
- 参加資格 北海道に居住し、北海道テニス協会又は同協会に加盟している市町村協会・団体に登録している個人、
団体所属の者で下記の条件を満たす者
14才以下 2012年1月1日以降出生の者
12才以下 2014年1月1日以降出生の者
* 過去1年間道内に居住している事。但し、転入者は例外とする
* ブロック予選と同じ年令区分に参加する事
注：JTAジュニアランキング対象大会に出場出来るのは、当該大会本戦初日の実施される年の
12月31日までに満9歳の誕生日を迎える選手に限る(2025ルールブックp.85 「参加資格」)別紙1参照
* 出場できるブロック予選は一つのみとし、所属団体があるブロックとする
ブロック予選の参加地域は1年間原則変更不可(住居の変更時は可)
- ドロー構成 ブロック基本枠 + 地域枠(各ブロック予選勝者)
地域枠は2025年9月19日付北海道ジュニアランキングを基に算出決定する
(ランキング上位者のブロックに順に割り振りする)※補欠は各予選準勝者、ランキング上位者とする
- ブロック枠
・ 各ブロックの基本枠は各年令、各種目1とする
・ 各ブロックは予選を行い当大会への出場者を選出する
- ブロック予選 出場できるブロック予選は一つのみとし、所属団体があるブロックとする(別紙1参照)
- 競技方法 トーナメント方式 (ノーレット方式)
2タイブレイクセット(6-6 7ポイントタイブレイク)ノーアドバンテージ
ファイナルセット10ポイントマッチタイブレイク
- 日程 12歳男女シングルス 2月21日(土) 1R・QF 23日(月) SF・F
14歳男女シングルス 2月22日(日) 1R・QF 23日(月) SF・F
- ウォームアップ 緒戦3分以内・当日2試合以降サービス4本
- 使用球 ダンロップ オーストラリアンオープン 3球使用
- ワンコイン制度 本大会は、ワンコイン制度の対象大会です。参加にあたり、参加料とは別途、ワンコイン制度金100円を負担願います
- Jr. JPIN運用経費 Jr. JPIN運用経費として都道府県ランキング対象大会から1エントリー毎に別途、200円を負担願います
運用に関しましては日本テニス協会ホームページをご覧ください。
- 参加料 6,700円(ワンコイン制度金100円+JPIN運用費220円含む) 支払い方法は日程表に詳細記載
大会当日、釣銭の無いように持参願います
- 申込方法 各ブロック予選大会責任者は、大会終了後、推薦順位表を北海道テニス協会へ送付する事
本戦出場・補欠の選手はオンラインエントリーをしてください
オンライン受付開始 2025年12月25日(木) 14:00
エントリー締切 2026年1月27日(火) 13:59
ウィズドロー締切 2026年1月30日(金) 13:59
オンラインエントリーはJTAプレーヤーゾーンでお願いします(マニュアルをHP掲載)
検索大会名 『2026 DUNLOPジュニア 北海道予選』
- ディレクター 太田 幸江 レフェリー 藤田 猛敏
- 選手選考 2026年1月31日(土)北海道テニス協会にてドロー会議を行いドロー・日程等を決定し、北海道テニス協会HP上で公開します
- 全国大会 この大会は『全国選抜ジュニアテニス選手権大会』(2026年5月 千葉)の予選です
全国大会出場枠は各種目、各年令 2名です
- その他 1) 北海道大会は2026年1月18日付(予定)のランキングを使用します
2) 参加選手は日本テニス協会競技規則及びマナーを守り、その他の事は大会委員会の決定に依ります
3) 遅刻・服装・その他についてはテニスルールブック2025コードオブコンダクトに依ります
4) 本大会で得られた個人情報については、本大会関係及びランキングの資料作成を目的として利用させていただきます。
また、法令に定める場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく第三者に提供いたしません
5) 本要項は運営等の都合により変更される場合があります
6) セルフジャッジの5原則の厳守をお願いします 2025ルールブック参照
7) 帯同者の皆様はホームページ掲載の注意事項・動画撮影注意事項を必読願います
8) オフコートコーチングは採用いたしません
- 駐車場について 駐車台数に制限がありますので駐車券を本部で配布いたします。出場の選手に発行します。呼び出し時間の30分前から
試合終了30分後まで駐車できます

別紙 1
年齢区分種目別の参加可能年齢とランキングポイント

当該年齢基準日 (12月31日) 満年齢	種 目							備 考
	U12	U13	U14	U15	U16	U17	U18	
18歳	×	×	×	×	×	×	○	
17歳	×	×	×	×	×	○	○	
16歳	×	×	×	×	○	○	○	
15歳	×	×	×	○	○	○	○	
14歳	×	×	○	○	○	○	△	
13歳	×	○	○	○	○	△	△	
12歳	○	○	○	○	△	△	△	
11歳	○	○	○	△	△	△	△	
10歳		○4	×	×	×	×	×	カラーボール推奨
9歳	○3	×	×	×	×	×	×	
～8歳	×	×	×	×	×	×	×	

- 出場可、(ポイント付与、ベスト5大会を集計)
- 4 出場可、(ポイント付与、ベスト4大会を集計)
- 3 出場可、(ポイント付与、ベスト3大会を集計)
- △ 出場可(ポイントは付与されず、試合数も0とする)
- × 出場不可

* 各ブロック割について

ブロック	協会名 及び 市 町 村 名
道 南 西	函館・檜山地方を含む
道 南 東	室蘭・苫小牧・白老・千歳・恵庭
道 央	札幌・小樽・江別・石狩・当別・余市・共和・岩見沢・栗山・北広島・三笠・砂川(新篠津)
道 北	旭川・留萌・滝川・稚内・士別・深川・芦別・富良野・妹背牛・名寄・留萌
道 東	帯広・釧路・北見・網走・紋別・音更・斜里・美幌・小清水・本別・遠軽・(女満別)

* 出場枠について

	男子		女子	
	U 14	U 12	U 14	U 12
ブロック基本枠	5 (1×5ブロック)		5 (1×5ブロック)	
ブロック加算枠	11 (ランキングにより配分)		11 (ランキングにより配分)	
合計	16	16	16	16
補欠枠 3	ランキングにより配分		ランキングにより配分	

2026年 全国選抜ジュニアテニス選手権大会 光(ひかる)杯 北海道大会

(2026DUNLOP CUP全国選抜ジュニアテニス選手権大会兼ワールドジュニアテニス世界大会代表選考北海道予選)

2026年2月3日

*** セルフジャッジ5原則の厳守をお願いします。ルールブックP241参照**

		2月21日(土)	2月22日(日)	2月23日(月)
女子	12歳以下	1R 1~6 SA 8:30 7~12 NB 9:30 13~16 NB 10:30 QF		SF SA 8:30 F 3.4位戦
	14歳以下		1R 1~6 SA 8:30 7~12 NB 9:30 13~16 NB 10:30 QF	SF 1~8 SA 8:30 9~16 NB 9:40 F 3.4位戦
男子	12歳以下	1R 1~6 NB 13:30 7~12 NB 14:30 13~16 NB 15:30 QF		SF NB 9:40 F 3.4位戦
	14歳以下		1R 1~6 NB 13:30 7~12 NB 14:30 13~16 NB 15:30 QF	SF NB 10:50 F 3.4位戦

《 注 意 事 項 》

- 大会会場 札幌市宮の沢室内競技場 (人工芝3面) 札幌市西区宮の沢490 (TEL 011-664-6363)
- 届出時間 上記時間の30分前から会場への入場ができます。時間までに受付を済ませてください
補欠選手はその種目の1Rの開始時間15分前までに本部にてサインインすること
- 競技方法 トーナメント方式 (ノースレット)
全試合 2タイブレイクセット(6-6 7ポイントタイブレイク)(ノーアドバンテージ)
ファイナルセット10ポイントマッチタイブレイク
- 使用球 ダンロップ オーストラリアンオープン 3球使用
- ウォームアップ 1R3分以内 QFサービス4本 SF・F 3分以内
- 服 装 『JTAテニスルールブック2025』コードオブコンダクトによります
- 審 判 セルフジャッジ (ローピングアンパイアを配置) 12BS・GSはSFから審判が付きます
- そ の 他
 - 本大会は2026年1月16日付北海道ジュニアランキングを使用
 - 参加選手は日本テニス協会競技規則及びマナーを守り、その他の事は大会委員会の決定によります
 - 服装・遅刻・その他に関しては、2025ルールブックに従います
やむを得ず大会に出場出来なくなった選手は必ず下記へ連絡してください(欠場届の提出も必要)
 - 天候・その他の事情で会場、試合方法等を変更することがあります
 - 表彰は優勝・準優勝者に賞状・メダルを授与致します
 - 2/21日・22日のOPは2/17日17時以降、北海道テニス協会ホームページに掲載致します
 - 7)参加料については、大会当日の納入とします**

12. 駐車場

*** 駐車可能台数が25台となっておりますので駐車券を大会本部で受け取り、車のフロントに掲示をお願いします(1選手1台)試合終了後は速やかに退出をお願いします**

※ 帯同者の皆様は、ジュニア大会ホームページに掲載の注意事項を必読してください

※ この大会は5月千葉県:吉田記念テニス研修センターにて行われる

『2026 DUNLOP CUP 全国選抜ジュニアテニス選手権大会 兼 ワールドジュニア代表選考会』の北海道予選で
各種目男子・女子 各2名が、この全国大会に出場出来ます

大会連絡先
北海道テニス協会

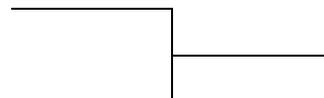
TEL 080-9283-4548(大会期間中)
TEL 011-820-1670/FAX 011-820-1671

[ジュニア_DUNLOP] 2026 DUNLOPジュニア北海道予選
BS 12-本戦

Tennis Tournament Planner - jta.tournamentsoftware.com

	選手登録番号	St.	Rank	所属団体	Round 1	Quarterfinals	Semifinals	Final	勝者
1	M211356		71	SFC	石川 瑛都 [1]				
2	M215232		497	釧路ひぶなTC	伊藤 歩				
3	M213120		171	宮の森SC	川中 颯士				
4	M211354		239	SEEKERSTT	岡崎 慎				
5	M208769		147	ライジング	君島 大知 [4]				
6	M213666		245	スウィング89	加藤 佳				
7	M217890		500	帯広ウイング	中田 好誠				
8	M711508		253	Line's Collect.TA 函館	高尾 来那				
9	M224676		357	TEAM-K	小松田 徠桜				
10	M221797			旭川宮の森SC	澤田 遥翔				
11	M222067		244	ライジング	岩沢 健				
12	M709955		83	HTA	杉村 駿 [3]				
13	M211341		403	宮の森SC	渡部 樟太				
14	M217917		500	PRST	葦重 達乃助				
15	M209251		187	むーブ	大塚 悠裕				
16	M707948		74	ローズテニスクラブ札幌	八木 春馬 [2]				

順位 3-4

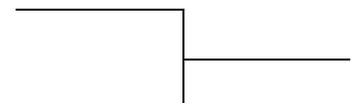


[ジュニア_DUNLOP] 2026 DUNLOPジュニア北海道予選
GS 12-本戦

Tennis Tournament Planner - jta.tournamentsoftware.com

	選手登録番号	St.	Rank	所属団体	Round 1	Quarterfinals	Semifinals	Final	勝者
1	F213173		43	ライジング	山下 真央 [1]				
2	F226456		407	旭川宮の森SC	倉持 桜				
3	F710813		155	文京テニススポーツ少年団	屋敷 春音				
4	F213233		253	Line's Collect.TA 函館	野村 煌				
5	F207634		78	Line's Collect.TA	小谷 梨咲 [4]				
6	F208824		143	あけぼのTC	成田 小夏				
7	F225072		407	Sieg Ryston 31	池崎 琴音				
8	F208833		132	ライジング	川端 咲				
9	F221725		398	文京テニススポーツ少年団	屋敷 雪水				
10	F203017		112	Line's Collect.TA	津川 ひなた				
11	F221505		405	SFC	佐々木 杏				
12	F208832		73	宮の森SC	小林 結夢 [3]				
13	F213192		113	ライジング	岩沢 あかり				
14	F217964		220	釧路ひぶなTC	川口 萌衣				
15	F223500		212	あけぼのTC	井端 七海				
16	F207635		65	SEEKERSTT	濱中 花乃 [2]				

順位 3-4

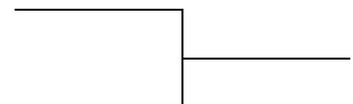


[ジュニア_DUNLOP] 2026 DUNLOPジュニア北海道予選
BS 14-本戦

Tennis Tournament Planner - jta.tournamentsoftware.com

	選手登録番号	St.	Rank	所属団体	Round 1	Quarterfinals	Semifinals	Final	勝者
1	M183716		19	SFC	吉田 悠真 [1]				
2	M202510		79	宮の森SC	荒谷 航平				
3	M187567		91	UFO	清水 優利				
4	M183717		58	スウィング89	山根 大地				
5	M198073		47	ライジング	月花 幸成 [3]				
6	M183736		99	DJTT	小林 星太				
7	M202499		57	SEEKERSTT	蠣崎 海允				
8	M198230		59	宮の森SC	本多 銀人				
9	M202501		61	HTA	杉村 想				
10	M706037		77	ライジング	村本 鈴				
11	M209662		135	T.P.JOY	鎌田 光琉				
12	M213895		48	SFC	生垣 怜真 [4]				
13	M208784		69	スウィング89	佐野 雄飛				
14	M706100		92	ライジング	野村 篤斗				
15	M215168		105	PRST	佐藤 暖真				
16	M187645		34	宮の森SC	濱田 行月 [2]				

順位 3-4

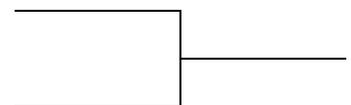


[ジュニア_DUNLOP] 2026 DUNLOPジュニア北海道予選
GS 14-本戦

Tennis Tournament Planner - jta.tournamentsoftware.com

	選手登録番号	St.	Rank	所属団体	Round 1	Quarterfinals	Semifinals	Final	勝者
1	F704442		16	Line's Collect.TA	伊藤 咲笑 [1]				
2	F193464		45	帯広ウイング	橘 七菜				
3	F215234		221	釧路ひぶなTC	小矢部 優名				
4	F198023		52	きたひろテニスポタ	浅野 美羽				
5	F193325		42	きたひろテニスポタ	松田 美美里 [4]				
6	F709958		44	SFC	角谷 奏				
7	F193318		156	文京テニススポーツ少年団	鈴木 奏				
8	F202619		53	あけぼのTC	井端 ゆい				
9	F203016		59	苫小牧テ協会	増澤 葵				
10	F202618		88	あけぼのTC	小池 李実				
11	F193321		67	北星女子中	齋藤 環				
12	F193317		33	きたひろテニスポタ	中泉 芽依果 [3]				
13	F198753		82	函館ピア	松下 紬				
14	F198186		56	きたひろテニスポタ	安房 春衣				
15	F221850		253	旭川宮の森SC	高橋 綾				
16	F187598		29	UFO	藤原 玲生菜 [2]				

順位 3-4



ヒカルハイ 「光杯」について

藤澤光さんは私の社長でした。今回は光杯と言うことですので光さんと呼ばせて頂きます。

光さんは札幌南高校からテニス部に入部され大学はテニスの名門校の早稲田大学で活躍されました。

早稲田大学時代からの交友は広く、全国のドロー会議においても力量をはっきなされたそうです。またつぎのようなエピソードもお持ちです。1959年の毎日トーナメントダブルス2回戦で現在の天皇陛下と対戦され陛下に勝たれたそうです。

ジュニアの普及事業では、ヤマハスポーツの協力でヤマハジュニアカップ（現ダンロップジュニアカップ参加延数2000名）やジュニアリーグ戦は久木さん（あけぼのT・C）と共に高台テニスコートで札幌のジュニアを集め1週間のロングランでリーグ戦を行いました。ジュニアは試合期間中に着実に力を付けたそうです。（現春秋のリーグ戦参加延数600名）。このような入門クラスの大会を作り底辺の拡大を計られました。

協会は「はまなす国体」に向けての選手強化を始めました。大勢の中から選手が選考され、その中には将来全日本選手権の覇者鈴木貴男、小畑沙織も参加していました

光さんはいつもジュニアの全国大会に選手を引率されておりました。この頃は北海道の選手が全国大会で一勝することは大変のことのようでした。ジュニアの普及及び選手強化に力を注いでる中、心ならずも1986年レッスン中に心筋梗塞で倒れ、翌日他界されました。

その後、山下宏さん、北村裕昭さん、乙丸義克が選手育成を引き継ぎ「はまなす国体」では少年男子、女子共に入賞する事ができました。

光さんの亡くなる前の1985年、「スポーツ人」ジュニアの育成に情熱を燃やす指導者として新聞紙上に紹介されました。その中の光さんのコメントです。「これからは地方が強くなる時代だ。そして北海道から日本のトップ選手を出したい。」この願いを引き継いだ選手、指導員の努力で鈴木貴男、小畑沙織の全日本選手権制覇、藻岩高校国体全国大会少年男子優勝、内山靖崇選手の世界大会での活躍等、多くの選手が活躍しております。

選手の皆さんは「光杯」をステップとして全道、全国で活躍して下さい。

故 乙丸義克

光さんの大先輩の詩

この一球は絶対無二の一球なり
されば心身を挙げて一打すべし
この一球一打に技を磨き
体力を鍛へ精神力を養ふべきなり
この一打に今の自己を發揮すべし
これを庭球する心といふ

福田 雅之助